

令和 7 年度

第 2 回 吉備中央町有機フッ素化合物に関する連絡協議会

次 第

日 時：令和 7 年 1 月 4 日（火） 午後 6 時から
場 所：かもがわ総合福祉センター 集会室

1. 開 会

2. 町長あいさつ

3. 協 議

(1) 第 1 回有機フッ素化合物に関する連絡協議会議事概要について

(2) 住民説明会での意見等に対する今後の方針について

(3) 環境省の動きについて

(4) その他

4. 閉 会

令和7年度 第1回吉備中央町有機フッ素化合物に関する連絡協議会 議事概要

日時 令和7年8月28日（木） 18時～19時30分

場所 かもがわ総合福祉センター 集会室

1. 連絡協議会の設置要綱と名称変更について

- ・前回の検討委員会での意見を基に、地元の意見をより反映しやすい場を目指すことから、委員会名を「有機フッ素化合物に関する対策検討委員会」から「連絡協議会」に変更し、内容も改め、委員の承認を得た。

2. 連絡協議会の公開・非公開について

- ・連絡協議会は非公開とすることで合意。議事録の概要を住民に公開する方向で調整。
- ・発言者の個人名は伏せ、要点筆記をホームページや地域紙面で共有する。

3. 第1回吉備中央町有機フッ素化合物対策検討委員会の議事録概要について

- ・事務局により前回の議事概要を説明し、委員から議事内容について承認が得られたので、町ホームページに掲載することが決まった。

4. 住民説明会での意見に対する今後の方針

- ・住民からの意見を基に、地域の安全と安心を優先し、具体的な対策を検討。
- ・参加者からの率直な意見を反映し、専門家への依頼も含めた柔軟な対応を取ることを確認した。
- ・住民説明会の質疑応答部分の公開を検討中。報道機関の前では発言がしつこい住民に対しては後日、個別対応をすることとした。
- ・委員からは、住民説明会の質疑応答の公開により、誤解を招かない情報共有の重要性が指摘された。

5. 血液検査の実施間隔と方法について

- ・血液検査の期間を本人で選べる対応が可能か。
- ・血液検査が3年か5年どちらが良いかが分からぬ。
- ・血液検査は5年なら5年で良いのでは。
- ・血液検査希望者は2年でも3年でも行ったらいよいのではないか。
- ・血液検査は検査を行う人の希望で行ったらいよいと思う。
- ・血液の濃度が下がってから不安が解消されるのではないか。
- ・子供の健康診断の機会を増やすため、PFAS以外の血液検査を毎年実施することを検討中。
- ・PFAS 血中濃度検査の頻度については再評価中。

- ・委員から、3年か5年の検査間隔が適切とする意見が出され、住民の健康不安を軽減するために早めの検査が望ましいという声があった。
- ・子供の検査については、負担を軽減するために地元での採血や移動手段の確保を提案された。

7. 住民不安の緩和に向けた取り組み

- ・地域の方の不安解消方法として地域の方に寄り添ってほしい。
- ・住民の健康不安を軽減するため、定期的な健康診断の実施や明るい情報発信が提案された。
- ・委員からは、県や国により積極的な対応が必要との意見があり、また、PFASによる健康リスクの正確な情報提供と透明性のある対応が求められた。
- ・「日本一安全な水道水」を目指し、地域の安心を高められる取り組みを提案された。

8. その他

- ・住民の中には、あまり騒がず、そっとしておいて欲しいとの意見がある。
- ・風評被害、健康問題等をトータルで考えて情報共有してほしい。
- ・借地への産業廃棄物らしきものが保管されないようにする再発防止策の検討を求められた。

9. 次回の予定

- ・協議会は2ヶ月後を予定。
- ・次回の会合では、具体的な対策の進捗報告と次のステップについて議論予定。

(2) 住民説明会での意見等に対する今後の方針について

①子どもの血液検査の周期について

【住民説明会での意見】

子どもの検査間隔は、5年後でよいのか。年数が空きすぎではないか。

【町の方針】

◎子ども（2～18歳）の血液検査は希望者に対し、当面の間、毎年実施する方向で検討する。

- ・血液検査はPFAS血中濃度と生化学検査を実施する。
- ・PFAS血中濃度検査の結果については評価が難しいことから、希望者のみに結果を送付する。

②大人の血液検査の周期について

【住民説明会での意見】

採血周期は早めないのか。5年後を見直さないのか。血中濃度が下がっていくことが確認できないと不安だ。町は住民の不安に寄り添うと言ったのだから、もっと短い間隔で行うべきだ。

【町の方針】

◎公費で行う検査は、3年後（令和9年度）と、その3年後（令和12年度）に実施する方向で検討する。

③小児の血液検査の町内実施について

【住民説明会での意見】

小児の血液検査を希望があれば町内でやることを検討していただけるか。

【町の方針】

◎専用の医療機器を要するため町内で実施することは困難であるため、昨年同様、岡山市内の小児科で実施する。

◎岡山市内への医療機関へ移動するための交通手段を町で準備する方向で検討する。（条件として、保護者同伴）

④疫学調査（腎臓等）について

【住民説明会での意見】

被害地域における疫学調査は非常に重要である。円城地域に特化した調査を行うべきだ。原因は調査していないが、5人ぐらい亡くなった地区もあると聞いている。腎臓を調べるべきだ。

【町の方針】

◎がん登録のデータ取得に取り組む。

⑤住民説明会における報道関係者への公開について

【住民説明会での意見】

質疑応答をマスコミに公開しないのはおかしい。隠そうとするのは本意ではない。風評被害に町と住民が一緒になって立ち向かうことが大切である。

【町の方針】

◎「公開」と「非公開」の双方の意見があり、全ての方の要望に沿うことはできない。協議会の中で意見を伺いたい。

環境省の動き

「PFOS 等の濃度低減のための対策技術の実証事業」の現在の状況等について

【事業目的】

環境中に高濃度で検出された PFOS 等について、濃度低減のための効果的な対策技術に関する知見を充実させることを目的として、「PFOS 等の濃度低減のための対策技術の実証事業」を実施する。

- ① 「PFOS 等の濃度低減のための対策技術の実証事業」における対策技術の選定について
(7月24日環境省発表)

○吉備中央町における現地作業を行う事業者：

株式会社 鴻池組 PFOS・PFOA を含む土壌のロータリーキルン式熱分解処理による
濃度低減技術（高温で土壌を加熱し、PFOS 等を分解する技術）
(実証試験開始 令和7年9月)

計画予定断面図（次ページ）

掘削土壌は、実証試験地に一時的にストックされますが、試験材料として順次搬出されています。
(フレコンバックにより番号管理を行いながらストックされています。)



○現地の土壌を用い、ラボにおいて対象技術の実証試験を行う事業者：

(土壌を水で洗浄する技術)

清水建設株式会社 PFOS 等汚染土壌の浄化を目的とした分級洗浄技術

(土壌を固める物質を混合し、PFOS 等が土壌から溶け出さないようにする技術)

株式会社 環境管理センター 汚染中心濃度に対応した超低負荷型 PFAS 固定化等技術

株式会社 大林組 PFOS 等汚染土壌の固化・安定化処理 ～汚染土壌からの PFOS 等溶出抑制～

(実証試験開始 いずれも令和7年9月)

② 今後のスケジュール予定

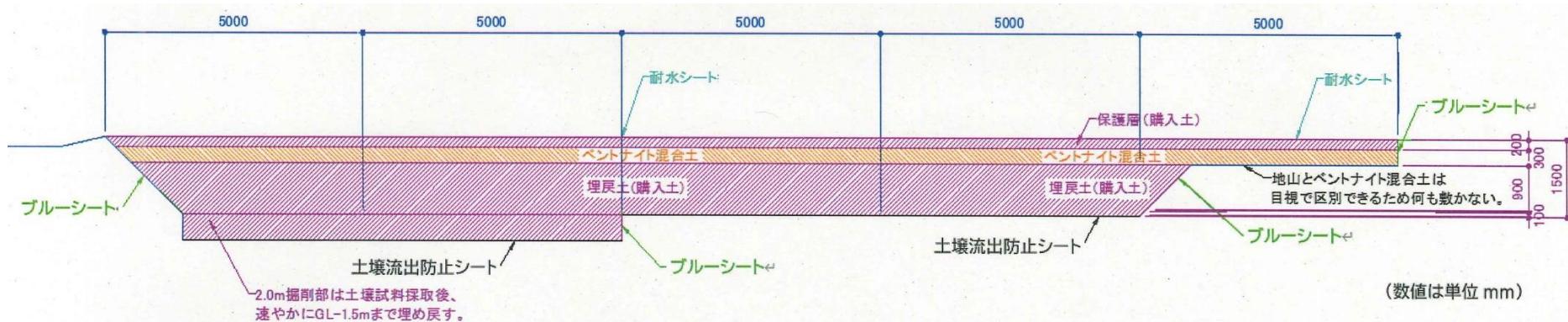
令和7年10月頃 各対策技術の評価(中間評価)

令和7年12月頃 現地作業完了予定

令和8年 2月頃 各対策技術の評価(最終評価)

計画予定断面図

■掘削範囲 (0.5m – 2.0m、500m²程度)



※ペントナイト混合土:天然の鉱物を混合し、粘度を高くすることによって水を通しにくくした土のこと

- ・掘削範囲は、現場の状況を踏まえ、PFOS 等の濃度が高い範囲となるよう、有識者にも確認いただきながら検討しました。
- ・掘削後は、底面にシートを敷く等により事業後も掘削範囲が明確になるようにしつつ、埋め戻しを行います。
- ・一般的に河川等と比べて地下水の移動速度は遅く、実証事業による濃度低減の効果が確認できるまでに時間がかかる可能性があります。
- ・PFOS等の濃度は、季節・降雨等の影響により、一時的な濃度上昇や減少の変動が生じることもあるため、県にもご協力いただき、継続してモニタリングを行っていく予定です。



※県による継続モニタリング結果 <https://www.pref.okayama.jp/page/883873.html>

QRコード

健康相談窓口について

1. 概要

本窓口は、円城浄水場において有機フッ素化合物の濃度が国の示す暫定目標値を超えていたことが判明した直後の、令和5年10月に保健課内に開設した。その後、令和6年7月末から総合福祉センターに出張窓口を開設し、現在も対応中である。

開始年月日 保 健 課 内：令和5年10月24日（火）
総合福祉センター：令和6年 7月30日（火）

2. 実績（出張窓口）

開設日時 毎週火曜日 午前8時30分～正午
設置場所 総合福祉センター
開設回数 58回（令和7年9月30日現在）
受付人数 6名

3. 今後の方針（案）

総合福祉センターでの出張窓口は下記日程をもって閉鎖することとし、保健課内へ窓口を一本化する。

窓口最終日 令和7年11月18日（火）

※ 個別に希望があれば、福祉センターや自宅などで相談に応じる。